

(昭和25年4月1日に発刊された「広報うつのみや」の中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。)



(一口メモ) 移動図書館は、市民の利便性を図る目的で、記事の通り昭和46年7月から始まり、市内のステーションを巡回してきました。その後、図書館や生涯学習センター図書室などが整備されたことにより、平成17年3月にその役割を終えました。なお、移動図書館車は、南アフリカ共和国に寄贈されました。

## 昭和の記憶

～あんとキの記事から～



### 「移動図書館さつき号」スタート

(広報うつのみや昭和46年8月15日号)

移動図書館「さつき号」の巡回が始まりました。

7月26日、初の巡回ステーションは、日の出1丁目の公民館前。市長も出席して、待ちかまえた約50人の市民に340冊を貸し出しました。

現在、日に4カ所から5カ所のステーションを回っていますが、一般の小説、子ども向け読物、幼児教育書などが好まれ、毎日200冊から300冊の貸し出しがあり、皆さんの盛んな読書欲がうかがわれます。また、読みたい本の注文もたくさんあり、市はこれに応じられるよう、今後、つとめていきます。

「花」と「靴が鳴る」のメロディーが聞こえたら「さつき号」です。皆さん大いにご利用ください(原文のまま)。

## 暮らしと交通のいい関係

LRT

今回から、市が導入を進めているLRT(次世代型路面電車システム)を紹介していきます。

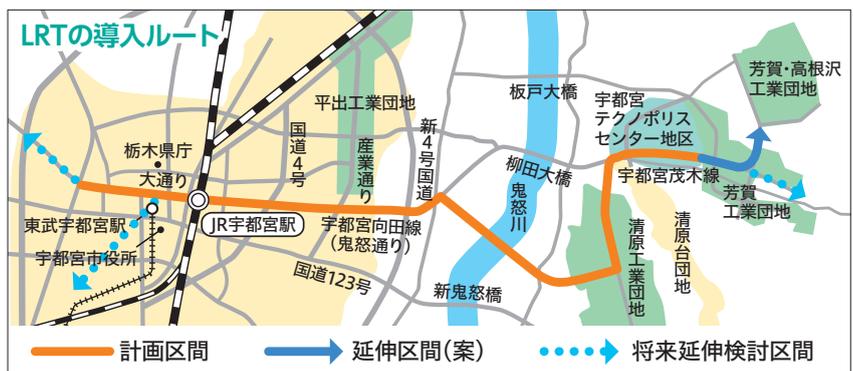
### ■持続・発展するまちへ

将来においても持続・発展するまちとなるため、南北の鉄道とともに、東西を結ぶLRTを基幹公共交通として、鉄道や路線バス・地域内交通などが円滑につながる公共交通ネットワークの構築を進めています。

LRTは、輸送力・定時性・速達性に優れ、市のまちづくりにもふさわしい交通システムとして平成28年度の着工を目指しています。

### ■JR宇都宮駅東側から優先整備

LRTは、公共交通全体の円滑化、まちづくりとの連携などから、「桜通り十文字付近～宇都宮テクノポリスセンター地区」までの15キロメートルを計画区間としていますが、平成25年3月に策定した「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」において、JR宇都宮駅東側の12キロメートル区間から優先的に整備することとしました。



また、昨年10月に、芳賀町から、市のLRT計画に参画したいとの要望があり、現在、芳賀・高根沢工業団地への区間を含めて一体的に検討を行っています。なお、芳賀町の区間は、町が整備することになります。

### ■現在の取り組み状況

昨年11月に芳賀町とともに、有識者などによる「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」を設置し、導入ルートや需要予測、施設整備計画など具体的な検討を進めています。こうした検討内容を含め、LRTについて、オープンハウスや地域説明会などを開催し、市民の皆さんへの説明に取り組んでいます。

次回は、オープンハウスなどで皆さんから寄せられた主な質問・疑問と回答などについて、紹介します。

☎LRT整備推進室 ☎(632)2304

◎安全啓発のため 自転車用ヘルメットの着用写真を募集 ▽募集期間 9月30日まで▽内容 L判か2L判の写真(データも可)と100文字以内の写真説明コメント。応募作品の返却不可▽対象 市内に在住か通勤通学している人▽申込 生活安心課に置いてある応募用紙(市HP)からも取り出し可)に必要事項を書き、毎月15日(必着)までに、送付またはメールで、〒320-8540市役所生活安心課 ☎(632)2135、✉ul1815@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。